

令和 4 年度重点モデル区域等での取組み状況について

1 重点モデル区域概要

「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策地域計画」では、県内の河川等及びその周辺で社会的利用があり、地域の高い環境意識のもと、関係者が連携して散乱ごみ対策に取り組み、モデル的な取組として他地域への波及効果が見込まれるエリアを「重点モデル区域」に設定し、期間を定め、うえて重点的・モデル的な対策を推進することとしています。

2 令和 4 年度取組みについて

県では、今年度、重点モデル区域に指定した高山市及び垂井町において、以下のとおり、海洋ごみ発生抑制対策として散乱ごみ抑制に取り組んでまいりましたので、ご報告します。

(1) 清掃活動等取組み状況

5月19日 清掃活動ウェブページ「クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～」を開設。知事記者会見にて発表。

<知事発言（抜粋）>

- ・今年度は、地域的なモデルとなる場所として、高山市と垂井町の2つの市町で実施し、順次、全県下へ拡げていく。
- ・「オール岐阜」での清掃活動を積極的に推進していきたい。
- ・「見える化」を通じた連携、全県的に清掃活動やごみの状況について様々に興味を持って、「見える化」を楽しんで、積極的に問題意識を持っていただきたい。

5月28日 揖斐川流域クリーン大作戦（垂井町／新聞 No. 1）

5月31日 第1回県職員プラごみゼロ活動

6月9日 タカノメ調査徒歩版

6月13日 タカノメ調査徒歩版

7月2日 飛騨高山クリーン作戦

7月8日 富山県との知事懇談会

6月中旬～7月中旬
第1回
タカノメ車両調査

<合意事項>

海岸漂着物（海洋ごみ）対策の連携について

- ・両県が連携した清掃活動の実施
- ・ウェブサイトや環境イベントを活用した、両県連携による海岸漂着物の実態に関する周知活動の実施
- ・両県で実施される清掃活動についてウェブサイト等で相互に情報発信
- ・「ぎふ・富山交流バスツアー」などの機会を活用した、富山湾の海洋ごみをテーマとした環境学習の実施

7月16日	県立不破高等学校クリーン活動（垂井町／新聞 No. 2）	
7月24日	GIAHS（鮎の日）イベントへのブース出展（事業PR及びアンケート調査） 垂井町海岸漂着物等対策懇談会（垂井町）	
8月21日	「海まで届け清流！ぎふウミガタリナイト ～プロジェクトマッピングで夏夜の環境学習」 （海と日本プロジェクト in 岐阜県実行委員会主催）	8月中旬～9月中旬 第2回 タカノメ車両調査
10月12日	相川沿い清掃活動（垂井町）	
10月17日	長良川を美しくしよう運動（新聞 No. 3）	
10月20日	第2回県職員プラごみゼロ活動	10月中旬～11月中旬 第3回 タカノメ車両調査
10月22日	飛騨高山クリーン作戦（高山市／新聞 No. 4） ・富山県との連携の一環として、上流域と下流域で同時開催。	
12月初旬	清掃活動ウェブページにてヒートマップ公表	

【参考】ごみ拾いSNS「ピリカ」投稿実績

・県清掃活動ウェブページと連動するごみ拾いSNSからの投稿実績

5/28	揖斐川流域クリーン大作戦	110名、700L
5/31	第1回県職員プラごみゼロ活動	280名、750L
7/2	飛騨高山クリーン作戦①	70名、405L
7/16	県立不破高等学校クリーン作戦	183名、540L
8/21	「海まで届け清流！ぎふウミガタリナイト」ごみ拾いDAY	363名、400L
10/12	垂井町相川沿い清掃活動	140名、160L
10/17	長良川を美しくしよう運動	1,980名、2205L
10/20	第2回県職員プラごみゼロ活動	135名、720L
10/22	飛騨高山クリーン作戦②	200名、180L

（2）令和4年度取組みの総括

垂井町

- 海洋ごみ発生抑制対策を推進するため、新たに垂井町海岸漂着物等推進懇談会が設置されました。町内各地区のまちづくり協議会や青年クラブ、生活学校、NPO法人、民間企業を構成員としています。
- 県立不破高校において清掃活動イベントを実施し、保護者の方含め183名と多くの方にご参加いただきました。
- 町主催での清掃活動イベントを企画し、今後の町内の海洋ごみ発生抑制対策において連携できる人材または団体を探すなど、自主的な取組みに移行しつつあります。

高山市

- 年2回実施している飛騨高山クリーン作戦において、ごみ拾いSNSや清掃活動ウェ

ブページを活用した清掃活動を実施しました。10月開催の2回目は、市内の高校生108名を含む約200名の県民に参加いただき、富山県との海洋ごみ発生抑制対策における連携の一環として、上流域と下流域で合同の清掃活動イベントとして実施しました。

総括

- 今年度は、県民への海洋ごみ発生抑制に係る普及啓発と、散乱ごみの分布状況調査の実施に主軸を置いた事業を実施してきました。
- 高校生の参加を募った清掃活動イベントでは、想定を上回る高校生の参加実績が得られたことから、引き続き、若者の行動変容促進のため、高校生や大学生に働きかけてまいります。
- また、次年度は、垂井町や高山市の取組みを踏まえ、重点モデル区域を拡大し河川の流域なども意識した一体的な海洋ごみ発生抑制対策に取り組んでいきます。